

地場の食品産業と連携した取組事例調査

島根県雲南市木次における
学校給食での地場野菜使用の事例

農林中金総合研究所



1. 学校給食共同調理場における野菜調達の概要

本事例調査の対象

学校給食野菜生産 グループ

(地区内生産者49人が会員、
平均年齢73歳)

野菜の使用量に占める地場産の
割合64% (16年度、重量ベース)

平成5年度から出荷開始
極力農薬を減らして栽培
地場野菜35品目を出荷

地元の学校給食共同調理場

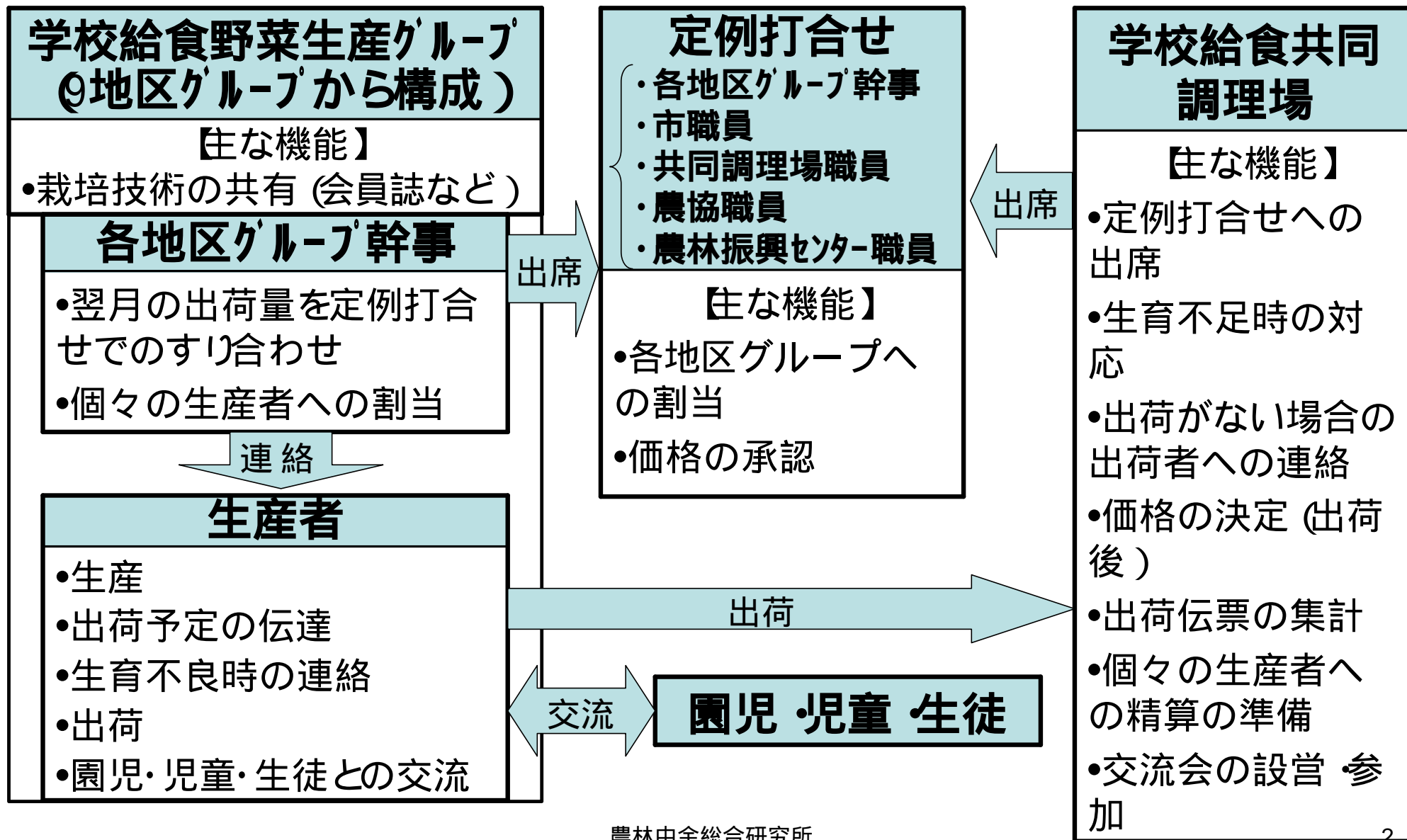
約1,100食

地区外
生産者

卸売市
場

地元青
果業者

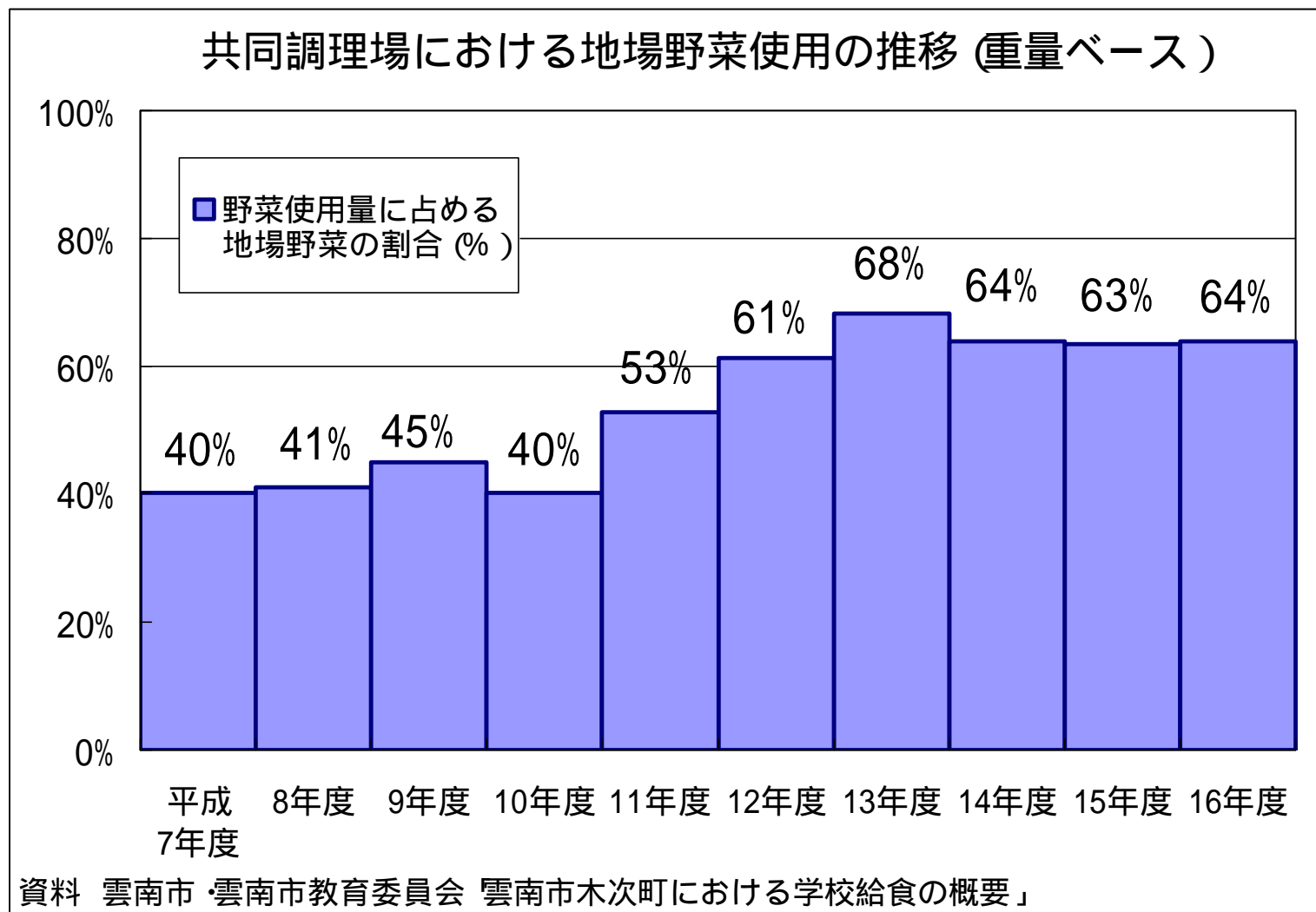
2.取引の流れ



3. 地場野菜使用開始時の考え方と効果

開始時の考え方	<ul style="list-style-type: none">•中山間地域の農業の振興•子どもの健康な身体づくり <p>住民が健康と食品に強い関心</p> <p>・・・健康の町づくり宣言 (昭和41年)</p>
効果	<ul style="list-style-type: none">•野菜がおいしいという児童・生徒が増えている。•児童・生徒から野菜のあえものの量をもっと多くしてほしいという要望がある。 <p>野菜好きに</p>

4.野菜使用量に占める地場産の割合の推移



5.地場 (旧木次町内)産の割合が高い品目 (上位15位)

順位	品目	仕入計 (kg)	うち地場産 (kg)	地場産の割合 (%)
1	かぼちゃ	782.0	782.0	100.0
1	かんしょ	428.0	428.0	100.0
1	さといも	322.0	322.0	100.0
1	かぶ	5.0	5.0	100.0
1	パセリ	41.5	41.5	100.0
1	おおば	1.0	1.0	100.0
1	にら	63.9	63.9	100.0
1	黒大豆	5.5	5.5	100.0
1	たかな	102.5	102.5	100.0
1	そうめんかぼちゃ	87.0	87.0	100.0
11	はくさい	1,768.5	1,654.5	93.6
12	ねぎ	1,006.3	911.3	90.6
13	にんにく	11.1	9.4	84.7
14	チンゲンサイ	121.5	100.5	82.7
15	モロヘイヤ	249.7	205.7	82.4

資料 雲南市木次学校給食センター資料

6.取引開始時のポイント(1)必要な条件

取引に必要な条件

実需側の意思決定
・リーダーシップ

対応可能な生産体制

町*が
生産グループ
に補助金

役場職員が
定例打合せ
に出席

町長*が発案

住民は
健康と食品への関心高い

本事例での対応

生産者を育成

普及員
による
技術
指導

生産者
同士で
技術を
共有化

調理員の
理解・協力

1つの品目を
複数で出荷

家庭菜園の延長で開始

*木次町は2004年11月に近隣町村と合併し雲南市に
農林中金総合研究所

6.取引開始時のポイント(2)必要な仕組み

取引に必要な仕組み

個々の生産者
への割当

値決め

生産者へ
の代金精算

定例打合せで
翌月分の調整

定例打合せ
で承認

共同調理場が
出荷者別に
出荷伝票を集計

個々の生産者が
地区代表に
出荷希望を伝達

市況や直売所
価格を参考に
共同調理場
が決定

本事例での対応

7.取引が継続しているポイント(1)

学校給食での地場野菜使用を制約する一般的要因

天候変動による仕入の不安定

規格のバラツキ

調理場での事務負担増

調理員の負担増

共同調理場が
献立変更や
青果業者に発注

出荷忘れ
防止

出荷者が
規格の
重要性
を理解

共同調理場
が
規格の
一覧表を
作成

調理員の
地場野菜
に対する
理解

生育不足時
生産者が
早めに連絡

前日出荷
可能に

恒温恒湿
庫を導入

生産者
による
調理場
見学会

本事例での対応

7.取引が継続しているポイント(2)

学校給食での地場野菜使用を制約する一般的要因

生産者にとっての価格の低さ

出荷に応じる生産者が不足

従来の仕入業者との関係

生産者は価格以外の満足を享受

生育不足時にも青果業者が協力

生産者と
園児・児童・生徒
との交流会

孫が
幼稚園・学校に
通っている

青果業者が給食での
地場野菜の使用に理解

開始時
に説明

健康と食品について
関心の強い地域

本事例での対応

8.残された問題点・課題

	問題点
学校給食共同調理場	<ul style="list-style-type: none">•野菜洗浄に時間がかかる(虫、枯葉等の除去)•生産者間で規格のバラツキがあり調理に時間がかかる。•給食で多く使用するにんじんの生産が少ない 土壌が栽培に適していない•生育不足時の対応。
生産者	<ul style="list-style-type: none">•後継者不足•配送が困難な生産者がいる 個々の生産者が持ち込む方式